

太田東西かわら版

おんころころ せんだりまとうぎ そわか

2024.12

私たちは
売りたい！



西洋医学の現場でも漢方の現場でも、薬に対する疑問を覚えた自分・・・。
「ここまで来たら、自分で自分が納得できるものを創るしかない！」。
そう決意して《麻亜耶》を生み出してから、今年で15年が経ちます。
その5年後には《アシュール》を、その5年後には《雲消霧散》を。
その5年後の今年、新たな製法で《雲消霧散ジェモ》《心晴日和ジェモ》
《La sin van (ラシンバン)》の3処方を作り上げました。

創作者の想い。簡単にご説明させていただくと

《麻亜耶》



絶対安心 母性

羊プラセンタ、紅羅布麻、エゾウコギ、キラン草

《アシュール》



六根清浄 女性性

アッケシ草、雪菊、オレガノ、発酵大豆胚芽

《雲消霧散》



肝腎要 デトックス

マコモ、野ブドウ、葛花、田七人参

《La sin van》



生命力 エネルギー源

馬プラセンタ、馬心筋

《雲消霧散ジェモ》 浄化再生 神聖



マコモ、クロモジ、ハンノキ、アカマツ（新芽）

《心晴日和ジェモ》 晴れ晴れ 上昇気流



月桃、桜、桃、ラズベリー（新芽）

さて今年の夏、右の本が発売されました。
新型コロナウイルス感染に対して
新しいレプリコンワクチンが今秋から
実施されていますが・・・

そのワクチン発売元の製薬会社の社員が
この本の著者という不可解な書物。
コロナワクチンを2回接種した20代の
同僚社員が急死したという事実から
自分たちが医療機関に営業販売している
コロナワクチンを改めて検証したところ、
ベネフィットよりもリスクが高いという
結論に至った。
その危険性を周知させたいという思いに
駆られて執筆した。



だから国や会社や社長が安全だと推奨しても、自分たちは

「売りたいくない！」

たくさんのエビデンス、説得力ある裏付けデータがあって、薬剤師として
とても参考になる内容でしたが、読了した私の率直な感想は

なら、なんで会社、辞めないの？

なら、自分の正義、貫いてみろよ！

今から40年前、薬剤師になり大学病院に勤めていた私は、自分に最高に
満足していました。念願の大学病院薬剤師。何の迷いも疑問もなかった。
しかし6年勤めて自分に出した結論は、「ここは自分の居場所ではない」。
病気の根本解決を無視した薬漬け医療。医者と患者の支配依存関係。

その結果、長崎にUターンしての独立起業。自分の正義を貫いたものの
不安しかなかった。開業2年目には理解されないストレスで入院しました。
理想と現実のギャップ。本音と建て前。自分の職務と生活(ステイタス)。
生きる上でのそうした「葛藤」。それに直面した時、どう舵取りするか?
私は「自分に正直に生きる道」を選択して来ました。

とはいうものの、病院は相変わらず大繁盛で、実にうらやましい……。
整形外科には開店前の早朝から並ぶ患者さんたち（どこが痛いの？）😄

病気は自分の考え方・生き方が大きく関係している。
医者任せ、薬任せにすることなく、もっと自分に向き合ってほしい。

今の体は、何をして、何を食べて来たか？の結果。
病んだ体と心を立て直すには、まずは食生活を見直すことから。
「口にするもの」「体に入れるもの」。そこにもっと目を向けてほしい。
安くてお得で美味しい物が、体に良いとは限らない。
「医食同源」。加工されていない生命力・エネルギーの高い食材を、手間暇かけて食する日本人であってほしい。便利になった世の中だからこそ。

食も医療も言葉も、“西洋かぶれ”している日本。
敗戦の“後遺症”はコロナワクチン同様、今でも続いている……

と、センチメンタルになりながらも
日本人の健康長寿のために、日本人の体質・気質にふさわしい漢方を

私たちは
「売りたい！」



手間暇かけて創って、心から愛して、飲み続けていますから。😊😊